

晴れの受章、おめでとうございます

秋の叙勲・褒章



旭日小綬章
【地方自治功労】
伊藤 隆夫 さん
(下江釣子・75歳)

昭和58年から8期28年11カ月にわたり、旧江釣子村議会議員、北上市議会議員として地方自治の発展に貢献しました。北上市議会副議長や北上市議会建設常任委員会委員長などを歴任。議会の秩序の維持と民主的議会運営に尽力し、平成7年から平成20年の間に、東北市議会議長会会長表彰や全国市議会議長会会長表彰を受けました。



旭日小綬章
【地方自治功労】
小原 宣良 さん
(上野町・70歳)

昭和62年から5期20年にわたり、岩手県議会議員として地方自治の発展に貢献しました。総務常任委員会副委員長や議会運営委員会副委員長を歴任。自然環境保全指針の策定や、県総合計画の大きな柱となる「人口と経済」項目を設定することに尽力。受章は「個人としてではなく、皆さんの支えがあったおかげでいただけ」と感謝の気持ちを話していました。



瑞宝小綬章
【教育功労】
高橋 善一 さん
(和賀町岩崎・75歳)

昭和36年に教諭となり、平成11年に花巻北高校長で退職するまで38年間にわたり、教育力の向上に努めました。宮古水産高校の100周年事業や不来方高校開校時に校長として携わるなど学校運営にも尽力。生徒へは誠実に生きてほしいという思いで接していたと話し、受章は「もううと思っていなかったのですが、びっくりした」と喜びを語っていました。



瑞宝双光章
【教育功労】
佐藤 稜吉 さん
(新穀町・78歳)

昭和31年に教諭となり、平成8年に北上市立南小学校長で退職するまで40年間にわたり、教育力の向上に努めました。小学校の教諭、教員のアドバイザーである指導主事、人事担当者である主任管理主事などを歴任し、勉強に興味を持たせる工夫など、学力向上に尽力してきました。受章は「当たり前のことをしてきただけで身に余る光栄」と話していました。



瑞宝単光章
【消防功労】
照井 浩 さん
(常盤台・78歳)

昭和41年から36年間にわたり、北上市消防団団員として、消防業務や団員の資質向上に尽力されました。北上市消防団副団長・分団長を歴任。入団してすぐ起こった黒沢尻西小学校の火災が印象深く、凍えるような大変寒い中での消火活動が思い出されると当時を振り返ります。受章は「心に響く受章で、とても驚いています」と喜びを語っていました。



黄綬褒章
【業務精励(宅地建物取引業)】
田鎖 康夫 さん
(常盤台・70歳)

昭和54年に平和不動産を設立し、昭和63年に有限会社へ変更後、代表取締役を務めています。平成20年5月からは(社)岩手県宅地建物取引業協会北上市支部長に就任し、地域宅地建物取引業界の先頭で、他の模範として業務に尽力。人との出会いを大切にしており、受章は「私のような者がもらえると思わなかった。皆さんに感謝している」と話していました。

危険業務従事者叙勲

昭和36年から平成15年に退職するまでの42年間の大半を地域課に勤務し地域の安全・安心に尽力しました。駐在所に勤務していた時は地域との連携を大切に、駐在所発行のミニ広報で県警の本部長賞を8年連続受賞。地域のお巡りさんとして親しまれました。受章は「今までのことを認めてくれた先輩や同僚、家族や地域の人々のおかげ」と感謝していました。



瑞宝双光章
【警察功労】
佐藤 宣勝 さん
(大堤東・70歳)

昭和36年から平成15年に退職するまでの42年間の大半を交通課に勤務し県民の交通事故防止に貢献しました。高速道路交通警察隊で勤務していた平成6年1月に起こった北上・東北道多重衝突事故では、40人以上に事情聴取を行うなど6カ月におよび、事故の真相の調査に尽力。受章は「警察官として当たり前のことをやってきただけ」と話していました。



瑞宝双光章
【警察功労】
崎田 義男 さん
(村崎野・71歳)

昭和40年から平成15年に北上署横川目駐在所長で退職するまでの38年間にわたり、地域の安全・安心に尽力しました。昭和46年の雫石で起こった全日空の飛行機事故の遺体捜索に携わったことが印象深いと話し「我慢強く忍耐のある警察官になって欲しい」と後輩へエールを送ります。受章は「諸先輩や同僚の協力があったからこそ」と感謝していました。



瑞宝単光章
【警察功労】
佐藤 将瑠 さん
(相去町・71歳)

昭和36年から平成15年に退職するまでの42年間にわたり、主に刑事として勤務し県民の安全に貢献しました。昭和46年に雫石で起こった全日空の飛行機事故では、機動隊員として遺体の捜索作業に尽力。「現場はこの世の地獄だった」と表現し忘れられないと振り返ります。受章は「立派なことをした覚えがないので、びっくりしている」と話していました。



瑞宝双光章
【警察功労】
田村 志郎 さん
(大堤北・70歳)

市民参画による政策評価

市は行政内部だけでなく、市民参画による政策評価も進めています。本年度は8～9月に4回にわたり開催した「きたかみ未来創造会議」で、総合計画の進捗状況について分野ごとに評価・検証を行い、とりまとめた結果を提言書として提出していただきました。また、10月29日には「北上市基本構想等審議会」を開催し、来年度の施策の方向性について協議いただきました。

評価結果および協議いただいた施策の方向性については、来年度予算編成にあたり役立たせていただくとともに、各施策を推進していくうえで尊重することとしています。

今後も政策の精度を高めるために、市民参画による政策評価を続けていきます。

問い合わせ
政策企画課
☎72-8223



委員から提言書を手渡される高橋市長上/グループで評価作業を行う委員右